

四季 花火を楽しめる
島原半島！

春、「小浜温泉湯まつり」
雲仙市民花火大会

夏、マリンフェスタin
くちのつ花火大会

ありえ浜んこら祭花火大会
島原温泉ガマダス花火

秋、「くにみの日」花火

冬、雲仙温泉「雲仙灯りの
花ぼうろ」花火



2017. 4. 1 (土) 雲仙市民花火大会



全九州花火師競技大会の創作花火

小浜温泉では、平成23年まで24年間「全九州花火師競技大会」が開催されていきました。花火師が技を競う創作花火は見る人々を魅了し、また沖合の台船から打ち上げる尺玉（30cm）の円形花火は直径300m広がり、圧巻でした。

「雲仙市民花火大会」は、旅館街の前から打ち上げられ、音で旅館の窓ガラスが振動し、光が海面を彩とりどりに染め、火薬の香が風に流されてくる。間近で見る花火は、その迫りに圧倒され、感動します。

旅館の部屋から見ることもでき、「花火と温泉」で心身ともに癒される花火大会とあって、県内外から多くの方が訪れ、宿泊されます。

総会開催のご案内

会員及び賛助会員の皆様へ

小浜温泉57 代表 鞆殿 勝



日頃より国道57号ボランティアサポート団体「小浜温泉57」の活動にご理解とご支援を賜り心よりお礼を申し上げます。

つきましては、下記の通り総会を開催いたします。ご多用の折とは存じますが、万障お繰り合わせいただき、ご出席賜りますよう、お願い申し上げます。

日時 平成29年4月25日（火曜日） 午後7時から

場所 小浜町老人福祉センター 3階研修室

- 議題 ◇ 平成28年度 事業報告及び決算報告 ◇ 平成29年度 事業計画
- ◇ 「ぐるっと一周島原半島」日本風景街道の取り組みの経過説明
- ◇ 国道57号工事概要説明（電線共同溝工事：西登山口地区工事）

紹介 4月3日着任されました 小浜維持出張所長 大宅康平 管理第一係長 牧島博文

お願い 「小浜温泉57」のボランティア活動は、会費（年1,000円）で運営しています。皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

「ぐるっと一周島原半島」を日本風景街道に！

祈りと幸せをつむぐ殉教・霊場巡礼街道

島原半島観世音三十三霊場巡り

しみず
二十三番霊場 「清水観音」

雲仙市小浜町北木指

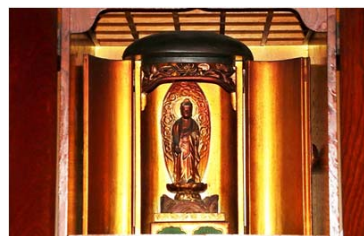


水汲み場の湧水

国道251号から約0.3km蔭平へ向けて行くと、石垣の下から清水が湧いている。一番上が飲み水、次で野菜を洗い、下流で洗濯をする。水道がなかった時代、住民はそこで水を汲み、水を大切に使い、守ってきたことが分かる。道路から47段の石段を上がると、社殿がある。平成5年に改築された。壁に奉賛者352名の名前が記されている。神社が地区住民で大事に祀られていることがうかがえます。伊勢屋旅館が数十年前、道路を隔てた所で温泉を掘り当てようとしたところ、水が自噴しました。その湧水が木指簡易水道の水源となっています。



正面に観音堂歌めぐりが掲げてある



御本尊 聖観世音

聖観世音 清水神社 観音堂歌めぐり (詠み人不詳)

はるばると訪ねてここに 木さし山 大慈のおかげ 仰がむがため

小浜小学校卒業記念植樹

3月13日(月) 午後2時～

生憎の雨、ランドセルを背負ったまま、スコップで掘り、培養土を埋め戻し、水遣り、濡れながらの作業でした。大変だったと思います。苦労しただけに、思い出になることでしょう。



ジャカランダを2本植樹

— 国道57号赤崎緑地帯 (昨年の大寒波で枯れた個所) —



6年生 30名参加

◇ 卒業記念植樹は、平成21年(2009)3月卒業生から、続けています。

3月定例作業 (第2火曜日)

3月14日午後1時30分～



1992.11.15「普賢岳チャリティーマラソン大会」を記念して設置された「招待選手足型石碑」 汚れ、文字の色は剥がれていた。設置者小浜町長草野壬二郎と記されており、伊勢屋旅館にご協力いただいで、洗浄しました。谷口浩美、ロサ・モタほか選手の経歴は、後日、黒色でペイントします。

— 国道57号沿い小浜港緑地帯 —

異常気象? 桜の開花遅れる

「ぐるっと一周島原半島」イベント

雲仙市千々石町



武者行列 3月25日

たいまつ かんおうかえん
武者の松明行列「観桜火宴」

桜は一輪も咲いてない祭りとなりました。

長崎県の桜開花 3月30日
橘神社の桜満開 4月12日



橘神社 4月13日